

# コープきんき

コープきんき事業連合は、コープしが・京都生協・ならコープ・よどがわ市民生協・おおさかバルコープ・いずみ市民生協・わかやま市民生協の近畿7生協を会員とする生活協同組合連合会です。

## 第65号

発行/2017年7月31日・通巻65号  
生活協同組合連合会  
コープきんき事業連合  
〒532-0011  
大阪市淀川区西中島5丁目  
13番9号 新大阪MTビル1号館  
TEL06-6838-4556  
FAX06-6302-9533

発行責任者/畑 忠男  
発行事務局/理事会室  
URL: http://www.kinki.coop/  
e-mail: info@kinki.coop

## 第1四半期事業報告(4月~6月)

### ■宅配事業実績(コープきんき共通企画・会員生協実績)

	実績	予算比	前年比
供給高 (千円)	39,698,074	97.7%	100.5%
粗利益高 (千円)	10,839,375	97.7%	100.2%
粗利益率 (%)	27.30	100.0%	99.7%
世帯利用高 (円)	4,232	98.5%	100.0%

### ■コープきんきの供給高

(単位:千円)

業態別供給高	実績	予算比	前年比
宅配食品事業	22,795,307	97.9%	100.2%
宅配家庭用品事業	5,562,436	97.4%	101.3%
店舗事業	3,458,859	97.2%	98.9%
ギフト事業	652,011	96.3%	94.2%
通販事業	2,431,657	98.6%	96.3%
合計	34,900,272	97.8%	99.9%

## 第14回通常総会を開催しました



2017年6月14日(水)午後1時より、ホテルメルパルクOSAKAにおいてコープきんき事業連合第14回通常総会を開催しました。

代議員51名(本人出席49名、委任出席1名、書面出席1名)、ご来賓17名、傍聴者32名、コープきんき役員を合わせて148名が出席しました。

ご来賓を代表して、大阪府 府民文化部 男女参画・府民協働課 課長 長澤研一様より、松井一郎大阪府知事からの祝辞が披露され、日本生活協同組合連合会 常務執行役員 尾辻雅昭様よりごあいさつをいただきました。

6つの議案について提案と討議を行い、採決の結果、すべての議案が賛成多数で可決・承認されました。

また、総会後の懇親会ではコープきんき虹の会 会長 日本水産株式会社 代表取締役 社長執行役員 細見典男様(現 代表取締役 会長)よりごあいさつをいただきました。



大阪府 府民文化部  
男女参画・府民協働課 課長  
長澤研一様



日本生活協同組合連合会  
常務執行役員  
尾辻雅昭様



コープきんき虹の会 会長  
日本水産株式会社  
代表取締役 社長執行役員  
細見典男様

### 採決結果

議案	反対	保留	賛成
第1号議案 2016年度事業報告、決算報告・剰余金処分案承認の件	0人	0人	多数
第2号議案 2017年度事業計画・収支予算決定の件	0人	0人	多数
第3号議案 役員選任の件	0人	0人	多数
第4号議案 役員報酬決定の件	0人	0人	多数
第5号議案 役員退職慰労金支給の件	0人	0人	多数
第6号議案 規約の一部改定の件	0人	0人	多数

### CONTENTS

- 第14回通常総会を開催しました ..... P1
- 第14回通常総会 代議員の発言要旨 ..... P2~3
- 2016年度事業報告・2017年度事業計画(抜粋) ..... P4~5
- 新役員体制 ..... P6

- 2017年度業務執行体制と経営組織 ..... P6
- 会員生協店舗紹介 ..... P7
- コープきんき虹の会第9回通常総会 ..... P7
- 第1四半期事業報告(4~6月度) ..... P8
- 品質保証・商品検査報告 ..... P8
- コープきんき共同開発商品 ..... P8

### 第1四半期の商品検査実施状況

検査区分	検査品目	基準外
新規検査	微生物検査	652
	食品添加物検査	177
	加工食品アレルギー検査	30
流通品検査	CO・OP商品微生物検査	537
	NB商品微生物検査	1,870
事前検査	輸入加工食品残留農薬検査	18
	農産物残留農薬検査	160
	放射性物質検査	88
合計	3,532	44

※商品検査の判定はコープきんきの自主基準にもとづいて行っています。基準外であっても商品の安全性に問題はありません。新規取扱品検査において基準外になった商品は企画をとりやめています。流通取扱品検査において基準外になった商品は、原因調査と対策を確認しています。放射性物質検査では、放射性ヨウ素、放射性セシウムとも、検出限界を超えるものはありませんでした。(検出限界:一般食品 25Bq/kg、牛乳・水・茶 1Bq/kg)

商品検査センターの検査結果  
コープきんきでは、生協で取り扱う商品に対する「食の安心安全」を求める組合員の信頼に応えるために商品検査を行っています。



品質保証レポート

くわしくは、コープきんきホームページをご覧ください。

コープきんき

品質保証  
商品の安全性確保や組合員の声を実現する取り組みについての活動報告として、「17年度版コープきんき品質保証レポート」を発行しました。

## コープきんき共同開発商品(CO・OP商品)新商品

**大隅産うなぎ蒲焼(タレ・山椒付)(無頭)**  
170g(1尾) 通常価格 本体 **1,980円** (税込2,138円)

**赤魚の煮付け(大きめ)**  
220g (固形量180g) 通常価格 本体 **398円** (税込430円)

**ぜんまい煮** 通常価格 本体 **100円** (税込108円)

**レンジでできる 天丼の具** 通常価格 本体 **498円** (税込538円)

**ジャズ(りんご)** 通常価格 本体 **298円** (税込322円)

**特選こいくちしょうゆ 密封ボトル** 通常価格 本体 **248円** (税込268円)

**子どものぶどうとりんご 子どものももとりんご** 通常価格 本体 **198円** (税込214円)



# 代議員の発言要旨

6つの議案について、各会員生協での討議をふまえた7名の代議員より発言をいただきました。

## 「事業連合の強みをいかして」

市民生活協同組合ならコープ  
代議員 田村 佳代子さん



コープ商品のブランド刷新がすすみ、コープきんきでも商品利用の拡大や、よりよいカタログ作成に取り組みました。下半期を終え、世帯利用高が予算、前年実績を上回ったことはうれしいですが、事業全体では底力を発揮しきれていない、コープ商品の良さを十分に組合員に伝えられていないのではないかと思います。よい商品だからみんなが利用します。17年度も組合員の関心事や世代に合った商品、生活が楽しく豊かに感じられる商品の開発や提供を期待します。ならコープには、月1回組合員が集まりおしゃべりする「コープ会」があります。加入1年未満の組合員に、生協はじめてましてHELLO！ならコープ連続講座を開催し、協同の意味とコープ商品の価値を伝え、おススメ商品の紹介やメーカー見学などを行いました。その結果、店舗利用の組合員が荷受ハウス(宅配)に登録され、参加者からは「生協のことが商品のことを知ることができてよかったです」などの声をいただきました。利用が少なくなっている組合員に、困りごとはないか、生協はくらしに役立っているか丁寧なフォローが大切だと思います。

利用がもっと伸びたいいな、組合員のくらしに欠かせない商品が増えたらいいな、というみんなの願いに向け、各単協の力を結集して利用の拡大に取り組みしましょう。個性が増え、おしゃべりの場が減っています。組合員が商品を真ん中に、カタログに載っている商品エピソードを言葉で伝え、「生協っていいよね」「コープ商品っていいよね」がもっと地域にひろがるようみんな考えていきましょう。新店コープなんこうオープンへの支援に感謝します。

## 「声を大切にす取り組みとコープきんき事業連合に期待すること」

大阪よどがわ市民生活協同組合  
代議員 佐藤 里香さん



くらしや地域をめぐる状況は依然として厳しい状況が続いていますが、これからも組合員の願いにこたえるために

ニュースなど上がる話題の拡散の速さと影響力は凄まじいものです。SNS利用の子育て層ファミリー層には、話題にしてもらえる工夫や仕組みが必要ですし、そうでないシニア層には紙面を通じたおすすめの声が必要です。eフレন্ズの利用のしやすさ、新しい注文アプリの開発も重要ですが、増え続けるシニア層への神対応ならぬ「紙対応」も忘れてはならないことです。私自身も生協組合員2世ですが、親から子へ生協の良さが伝わっているように、家族内での口コミ、そこから知人への拡散も捨てたものではありません。「生協大好き」の組合員からは、要望への対応に対する感謝の声とともに、加入歴の長い組合員への感謝・還元がないとの声も聞かれます。これからも「アイ・♡(ラブ)・コープ」が長きにわたり増え続けるためにも、どの利用層への対応も今以上に検討をお願いします。

## 「コープきんきに期待すること」

わかやま市民生活協同組合  
代議員 上田 朋子さん



「組合員のくらしの目線」をモットーに利用しやすいカタログへと紙面改革に取り組まれていることに対して高く評価する声を耳にします。「よりすぐりでは全国の美味しい品々に出会え、楽しさが増えた」「食品カタログに日用品消耗品が合冊になり利用しやすくなって良い」との声を聞くたび「歩前進」という思いがします。その反面、掲載されていた商品が無くなってしまったり、位置が変更になって探すのに苦労したりします。カタログに関しては、すみずみまで見るのが楽しみだとの意見と、多すぎて全部見られないなどの意見があり、カタログの選択配布がもっと簡単にすみやかにできるようなれればと思います。また、季節と催事や食育に関するメニュー提案を充実させ、組合員のニーズに応えられる品揃えを追求してほしいです。見やすく、わかりやすく、選びやすい紙面作りは組合員のふだんのくらしへのお役立ちを高めるための課題であり、期待します。

eフレন্ズでも利便性が高まり登録率、利用人数ともに増加しました。「インターネットでしか買えない限定品がとてもしんどい」と嬉しい声がある一方、「eフレন্ズは便利だけれどもスマホ版が使いにくい」との意見もあります。個人別レコメンド機能の導入によって、よく注文する商品が画面に表示され大変便利になりましたが、スマートフォンでの商品検索や募金がスムーズにできるようになれば、より

は、くらしから出される声や要望をしつかりと受け止め、共感し、実現に向けて努力し続けることが大切です。

昨年、よどがわ生協では、「組合員の事業への積極的な参加」についての答申を取りまとめました。組合員の声を数値として捉えるのではなく、要望を出されたくらしの背景や事実を掴み、生協として共感することを大切にしたい、実現に向けて努力を続けることを掲げました。その具体化として、毎月1回、配送担当者の手配りで「あなたの声を聴かせてください」カードを配布しています。このカードを通じて、普段配達時にお会いできない組合員からも声を出していただきやすくなり、見過ごしていた声や要望が出されるようになってきました。事例の一つとして、「立山連峰の水」のケースに貼られているテープが「はがしにくい」との声がありました。職員が「箱が開けやすいかどうか」を実際に試し、共感し、日本生協連で改善されることになりました。組合員の声が、全国の生協の改善にもつながり嬉しく思います。

声や要望は、すぐに実現できる事例ばかりではありません。声や要望は、すぐには実現できない事例ばかりではありません。コープきんきからの丁寧な回答に対して、「返事をもらって嬉しい」との声も寄せられています。また、それらの声を組合員どうしのコミュニケーションへつなげ、共感を広げることも目指しています。今後は、声を出した組合員に集まっていたいただき、おしゃべりしてもらおう「生協ある・ある、わいわい広場」も予定しています。コープきんきには、これからも組合員の願いや声に共感し、より良い商品開発、改善に生かしていただくことをお願いします。

## 「これからコープきんきに望むこと」

生活協同組合おさかバルコープ  
代議員 山口 千美子さん



時代の流れに呼応して、スマホアプリの開発やテレビの動画配信など新しいチャレンジに期待は高まります。離乳食レシピや子育てグッズ季刊カタログなど、子育て応援もとてもうれしいです。また、エシカルな消費者を増やすという試みなど素晴らしいと思います。今までは、子どもが出来れば安心できる生協に入って、と

使い勝手がアップすると思います。操作性を改善し、機能の向上やくらしの情報を提供するアプリの開発に期待します。いつ起こるか分からない災害を想定し連携を強めたいと考えます。大規模災害時に事業を継続するためにBCPマニュアルを検証・見直し、実効性を高めることに期待します。今後、災害だけでなく人材確保や生産者の減少など心配事は数々あります。そんな時こそコープきんきの共同の力で乗り越えていきたいものです。

## 「一緒に考えようきんき」

生活協同組合コープしが  
代議員 小澤 郁乃さん



3生協店舗事業連帯の取り組みにより、魅力ある売場、商品づくりをすすめることができました。現在、3号店オープンに向けて準備しており、事業連合の支援をお願いします。コープしがは商品政策の中でCOP商品と産直商品を柱に位置付けています。それぞれの単協には大切にしてきた産直産地があり、消費者と生産者が食や農、くらしのあり方を考え合い、積み重ねてきた信頼があります。一方で、災害によって生産基盤が絶たれる生産者も少なからずおられます。また、後継者問題で生産者不足となり、産地からの供給が厳しくなることも予感しています。安心して生産を継承していただける生産者支援のあり方、生産者とのつながりを一緒に考えてみませんか？共通産地の開発と合わせて、改めて既存の単協の産直産地を商品企画の柱に結び付け、組合員が想いを寄せる産直商品の普及・安定した利用が拡大できるような紙面づくりを期待します。

組合員から「高齢になると注文書の字が小さくて…」などの声があります。インターネット(eフレন্ズ)の活用こそ、それらを払拭できる可能性を秘めています。利用する組合員の立場に立って、様々なくらし方に対応できるシステムの構築が他の小売業とは違う「生協の宅配」になるのではないのでしょうか。宅配事業が他の業態の追随を許さない状況を維持できるよう、より注文しやすいくみ、情報の発信、組合員とのコミュニケーションなど、ICT技術の研究をすすめられるようお願いいたします。

いつの時代も、事業連合は単協の事業の延長線上にあると信じています。コープしがが事業を通してめざすものは、「一人ひとりの組合員が信頼と安心をいつも感じられる、一人ひとりの組合員にとって大切な生協になっていく」

というのが生協加入の大きな理由でした。最近はどうでしょうか。とりあえず生協には入るけど、コープマークがついているから安心だという認識はあるのでしょうか。以前のようにコープマークがあれば安心だから迷わず買う、という組合員は減ってきたのではないのでしょうか。コープマークがついた商品の品揃えも数が減り、目にしないので余計に購入する機会がなくなります。むしろ大手NB商品の方が信用されているのが現実ではないのでしょうか。安心ほどの商品も当たり前の今、値段やネームバリューが選択肢になっているように思います。

どうすればコープマークを手にもたらえるのでしょうか。「いつでも注文」コーナーはコープマークにとって格好の売場にならないのでしょうか。消耗品は切れたら即買います。いつものがなければあるものを買います。ポディソープなどはNBとコープ商品が同じように並んで、値段で選んでもらえるきっかけになります。しかし、その他の商品はNB商品ばかりでコープ商品を選ぶことはできません。一度買ってもらおうきっかけになるよう「いつでも注文」コーナーをコープマークで揃えてみてはいかがでしょう。そこには国産かどうかしつかりと明記してほしいと思います。高齢者にやさしい商品開発を期待します。

## 「コープきんきに期待すること」

大阪いずみ市民生活協同組合  
代議員 吉川 佐和子さん



商品案内のあり方や紙面構成の工夫、品揃え、注文方法等において各購買層に対応するために、たゆまなく努力されていることを実感しています。

生協への期待・要望は年々多岐に渡っています。総代や組合員から、食品残渣や食品ロスへの対応で、無駄を省き、社会へ貢献してほしいと要望されることもあり、ことも食堂などへの食材提供も各生協で広がってきているように思います。最近では、環境配慮、社会貢献型商品、アレルゲン対応商品などの品揃えも増えてきています。エシカル商品について、内容を知れば、社会貢献のため利用したくなる組合員は多いと思いますので、言葉の一人歩き状態から浸透させていくまで、伝え続けていくことの工夫と継続をお願いします。商品の美味しさや便利さ、生協の良さの伝え方も課題があります。班配が減り個配利用が増えている今、組合員同士の伝え合う手段も著しく変化しています。インターネット

です。その実践には事業連合の存在は欠かせません。事業連合だからこそできるくらしや食の提案を不断に追求していただき、単協、組合員と共に、より良いくらし、地域社会を一緒に創っていきましょう。

## 「組合員誰もが利用しやすいカタログを」

京都生活協同組合  
代議員 川村 幸子さん



宅配事業のカタログ再編は大きな改革だったと思います。カタログ全体では「構成が分かりやすくなり、商品の良さが伝わるようになった」との評価がある一方で、「カタログが多くて欲しい商品が探せない事がある」など、カタログの多さに対する声も多く出されています。特に高齢の組合員からはダイジェスト版を作りたいとの声が出されるほどです。私に気になっているのは、「ママ楽DeLi」のコーナーです。食材セットや簡便商品は供給高が前年を下回ったとの事ですが、「てきぱちキット」は本場に必要なのに価格分厚、使い勝手の面で利用しやすいものになっているのでしょうか？ターゲットとされる人達から支持が低いのは何故でしょうか？せっかくなりルソリユーザーとして企画されたのですから必要とされる人に重宝される品揃えをお願いします。よりすぐりは、百貨店の様な特別感があり「普段手に入らない物や品質にこだわった物が購入できて嬉しい」など高評価の声が多数出されています。自分へのご褒美やお土産として利用されている組合員も多く、送料がいらないうところが購入のポイントにもなっている様です。

キッチンメモは「商品情報が分かりやすく、購入のきっかけになるのでは」という声が多く聞かれています。被災地を応援する商品やきんきげんき商品、エシカル消費などをさらにアピールし、きんきげんきはキッチンメモから」という声が多く聞かれています。

eフレレンズについては、使いやすさが改善されればもっと利用が増えるとの声から、スマートフォン利用の増加に向けて、使いやすさを追求していただきたいと思います。時間には余裕があり、カタログの内容や見方を理解されている人には評価され、上手に活用されていますが、短時間でカタログを見なければならぬ人は苦痛の様です。多様な組合員がいる中でカタログを見るのが楽しいという生協ファンが益々増え、利用が広がる事を期待しています。



2016年度事業報告(総会議案書より抜粋)

2016年度事業活動の概括

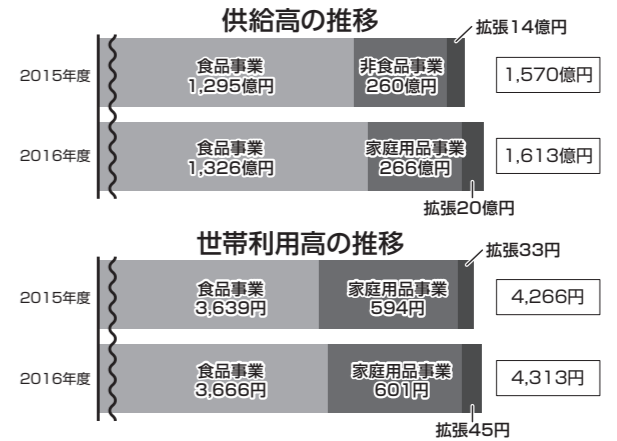
「組合員のふだんの暮らしへのお役立ち度を高めること」を最優先の価値観と位置づけ、実質賃金の減少や将来への不安から節約志向が広まる中、会員生協組合員のくらしへのお役立ちを高めるために、第5次中期計画に掲げた宅配・無店舗事業の成長性を確保するための改革課題に取り組みました。

- ① 宅配食品事業では、主力商品の提案力強化や商品仕様の見直し、見やすく利用しやすい紙面と多様なニーズに対応する新しいカタログづくりに取り組み、世帯利用高は予算、前年実績をもとに上回りました。
- ② 宅配家庭用品事業では、日用消耗品を食品カタログに合冊し、品揃えを再構築することにより、利用率と利用点数の引き上げをめざしました。利用者は拡大しましたが、利用点数が計画まで引き上がり、世帯利用高は予算に届きませんでした。
- ③ インターネットの利用促進では、eフレvenz(インターネット注文)登録者、eフレvenz受注の供給高は順調に伸びました。ギフト事業では、インターネット注文で「旬・グルメギフト」「お祝い・お返しギフト」を通年企画で開始しました。
- ④ 店舗事業では、会員生協共通の取り組みとともに、3生協(コープしが、京都生協、ならコープ)店舗事業連帯として、新店や既存店舗の改装を支援しました。
- ⑤ 品質保証では、品揃えの拡大による新規お取引先と新規商品の点検・検査を強化し、商品事故の防止に取り組みました。日本生協連の苦情対応システム共同基盤との連携や会員生協コールセンター情報集約分析システムの導入を行いました。
- ⑥ 非食品物流センターでは、日用消耗品の増加への対応や、拡張事業の食品と家庭用品の同梱を解消しました。

2016年度宅配事業実績

コープきんぎ共通企画・会員生協実績

	2016年度実績	予算比	前年比
供給高	1,613億 3,625万円	98.4%	102.7%
粗利益高	439億 5,770万円	98.4%	101.9%
粗利益率	27.25%	100.0%	99.2%
世帯利用高	4,313円	99.5%	101.1%



2016年度 決算報告

貸借対照表

流動資産	283億 650万円	流動負債	260億 8,922万円
		固定負債	4,642万円
		[負債合計]	261億 3,564万円
		会員出資金	7億 2,600万円
		剰余金	23億 2,906万円
固定資産	8億 8,421万円	[純資産合計]	30億 5,506万円
資産合計	291億 9,071万円	負債・純資産合計	291億 9,071万円

剰余金処分

剰余金処分		(単位:円)	
I. 当期末処分剰余金		692,005,570	
II. 任意積立金取崩額			
1. 災害対策積立金	30,000,000		
2. 商品対応準備金	10,000,000		
3. 別途積立金	800,000,000	840,000,000	
III. 剰余金処分額			
1. 利用分量割戻金	229,442,524		
2. システム開発積立金	400,000,000		
3. 災害対策積立金	340,000,000		
4. 重大事故対応積立金	400,000,000		
5. 物流最適化積立金	100,000,000	1,469,442,524	
IV. 次期繰越剰余金		62,563,046	

※利用分量割戻金は、2016年3月21日～2017年3月20日の期間における食品事業の各会員生協へのコープきんぎの供給高の0.25%です。  
 ※次期繰越剰余金には、生協法第51条の4第4項に定められた教育事業等繰越金2,100万円を含んでいます。

損益計算書

	2016年度実績	予算比	前年比
供給高	1,410億 507万円	97.9%	101.9%
宅配食品事業	917億 7,701万円	99.0%	101.2%
宅配家庭用品事業	222億 4,258万円	94.9%	103.6%
店舗事業	137億 7,573万円	100.3%	105.7%
ギフト事業	39億 670万円	104.0%	112.6%
通販事業	93億 303万円	89.4%	95.1%
事業総剰余金	62億 7,442万円	100.6%	107.1%
人件費	13億 5,450万円	97.2%	97.2%
物件費	45億 5,248万円	98.1%	105.0%
経常剰余金	4億 9,053万円	188.7%	197.7%

※ギフト事業には拡張領域事業(「いきいき日和」「にこにこほっぺ」)を含んでいます。

2017年度事業計画(総会議案書より抜粋)

コープきんぎの基本姿勢

- ・「組合員のふだんの暮らしへのお役立ち度を高めること」を最優先の価値観として事業活動を行います
- ・組合員の利用する立場からの視点を貫き、組合員のくらしの目線で事業を組み立てます
- ・事業を通して会員生協の発展と経営に貢献します

2017年度の最重要課題

- ① 第5次中期計画の最終年度、中期計画課題を確実に執行し、第6次中期計画を策定します。
- ② 組合員の利用しやすさを追求し、宅配事業の安定成長をめざします。宅配カタログの再編は、16年度の取り組みを総括し、次のステップへと進化させます。
- ③ 日本生協連・全国の事業連合との共同の力によるメリットを追求します。C・O・P商品や産直商品、コープきんぎオリジナル(留型)開発商品などの商品力を強化し、その普及に取り組みます。

主な重点課題

宅配事業

- ① C・O・P商品を中心に商品力を強化し、世帯利用の引き上げと会員生協の共同事業メリットを追求します。
- ② 見やすく、わかりやすく、選びやすい紙面(売場)づくりをすすめる、利便性の向上をめざします。

インターネット事業

- ① eフレvenzの利便性と安定性を高め、利用率・供給高を伸ばさせます。
- ② 新注文アプリを開発し、会員生協と連携して組合員への普及をはかります。
- ③ インターネット加入受付システムの2次開発、インターネット常設売場、法人需要への対応について検討します。
- ④ 次世代インターネット基盤の構築に向けた会員生協との討議を開始します。

ギフト事業

Web売場を整備・充実します。送料別ギフトシステムの開発をすすめる、プライスラインの見直し・新しいカテゴリの品揃えをすすめます。

店舗事業

- ① 各会員生協のニーズに積極的に対応します。
- ② 3生協(コープしが、京都生協、ならコープ)店舗事業連帯では、450坪タイプ店のフォーマットを確立します。また、600坪タイプのフォー

品質保証

- ① 非加熱喫食商品など食中毒リスクの高い商品への対応を引き続き強めます。
- ② 商品事故の未然防止や被害の最小化に向けて、システム連携をすすめます。
- ③ 商品の安全性確保や組合員の声を実現する取り組みについての情報発信を強めます。

物流・情報システム

家庭用品と低頻度食品の拡大方針に沿って、非食品物流センターの拡張の準備をすすめます。

2017年度収支予算

	2017年度予算	前年比
供給高	1,423億 1,211万円	100.9%
宅配食品事業	920億 2,486万円	100.2%
宅配家庭用品事業	225億 1,503万円	101.2%
店舗事業	147億 9,100万円	107.3%
ギフト事業	39億 3,754万円	100.7%
通販事業	90億 4,366万円	97.2%
事業総剰余金	62億 790万円	101.2%
人件費	13億 5,576万円	100.0%
物件費	47億 6,524万円	104.6%
経常剰余金	2億円	40.7%



# 新役員体制

6月14日開催の第14回通常総会およびその後の理事会におきまして、次の通り役員が選任され、就任いたしました。

理事	代表理事	畑 忠男 (昇任)	非常勤	京都生活協同組合 理事長
代表理事	専務理事	小池 隆博	常勤	
専務理事	常務理事	中村 清一郎	常勤	
常務理事	常務理事	三上 淳一 (新任)	常勤	生活協同組合コープしが専務理事
理事	理事	西山 実	非常勤	生活協同組合コープしが専務理事
理事	理事	白石 一夫	非常勤	京都生活協同組合専務理事
理事	理事	大島 芳和	非常勤	市民生活協同組合ならコープ専務理事
理事	理事	山中 教義 (新任)	非常勤	市民生活協同組合ならコープ専任理事
理事	理事	福西 啓次 (新任)	非常勤	大阪よどがわ市民生活協同組合 理事長兼専務理事
理事	理事	貫 恒夫	非常勤	
理事	理事	藪内 剛 (新任)	非常勤	大阪よどがわ市民生活協同組合 常勤理事
理事	理事	所 清司 (新任)	非常勤	生活協同組合おさかバルコープ 専務理事
理事	理事	荒井 力 (新任)	非常勤	生活協同組合おさかバルコープ 常務理事
理事	理事	勝山 暢夫 (新任)	非常勤	大阪いずみ市民生活協同組合 専務理事
理事	理事	久保 幸雄 (新任)	非常勤	わかやま市民生活協同組合 専務理事
理事	理事	上田 欣士郎 (新任)	非常勤	わかやま市民生活協同組合 専務理事
理事	理事	中井 勝也	非常勤	わかやま市民生活協同組合 専務理事
常勤監事	監事	西村 幸久 (新任)	非常勤	員外監事
監事	監事	砂畑 昌宏	非常勤	員外監事
監事	監事	古川 拓	非常勤	京都生活協同組合 常勤監事
監事	監事	石井 聡	非常勤	大阪いずみ市民生活協同組合 常勤監事
監事	監事	光定 均	非常勤	



畑 忠男 理事長

## 退任役員

6月14日をもって、代表理事 理事長 森宏之、理事 前川 光治、理事 奥井 和久、理事 桜井 耕司、常勤監事 中政治は、退任いたしました。

- 森 宏之 (2003年～2012年理事、2012年～2017年理事長)
- 前川 光治 (2003年～2017年理事)
- 奥井 和久 (2013年～2017年理事)
- 桜井 耕司 (2015年～2017年理事)
- 中 政治 (2013年～2017年常勤監事)

## 会員生協店舗紹介

### 「ならコープ Withローソン真美ヶ丘店」

6月2日(金)、奈良県香芝市に、「ならコープ Withローソン真美ヶ丘店」がオープンしました。

昨年11月に閉店した旧コープ真美ヶ丘は、組合員から存続を望む声を多数いただき、検討をすすめ、ならコープと(株)ローソンの店舗を一体化した「コミュニティ型店舗」として生まれ変わりました。(株)ローソンの商品に加え、ならコープオリジナル商品の食品や日用品、生鮮品を多数(1500品目)取り揃えています。

ゆったりとしたイトインコーナーは地域の憩いの場として、また、健康相談や医薬品が購入できる調剤薬局(8月中の開設計画)を備え、地域の方々から愛され、なくてはならない店舗をめざしています。

### <店舗概要>

- ・住所:奈良県香芝市真美ヶ丘 1丁目14-5
- ・売場面積:約220坪
- ・駐車台数:60台
- ・営業時間:24時間営業
- ・アクセス:近鉄大阪線五位堂駅より徒歩約10分



## わかやま市民生協「コープ中之島店」

7月8日(土)、和歌山市に「コープ中之島店」がグランドオープンしました。

売場面積は450坪です。「毎日、豊かで楽しい食生活を提案するお店」をコンセプトに、「新しい、おもしろい」「新しい、楽しい」「新しい、発見と感動」を提案するお店をめざしています。



### <店舗概要>

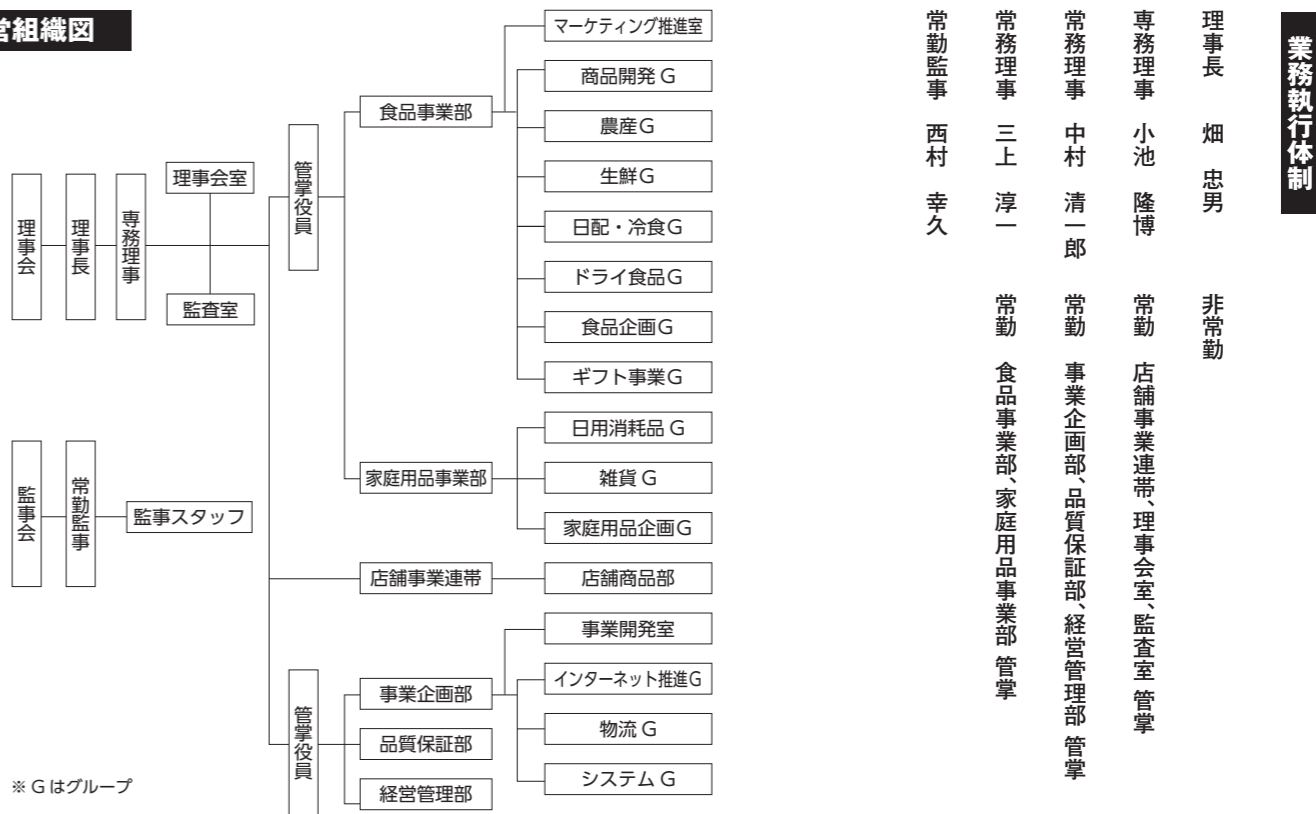
- ・住所:和歌山県和歌山市中之島 301-1
- ・売場面積:450坪
- ・駐車台数:140台
- ・営業時間:9:00～21:50
- ・アクセス:JR 阪和線紀伊中ノ島駅より徒歩約5分

### <地図>



## 2017年度 コープきんき事業連合 業務執行体制と経営組織

### 経営組織図



※ Gはグループ

## コープきんき虹の会第9回通常総会

コープきんきのお取引先の会である、コープきんき虹の会(会員数549)は、7月19日(水)、ホテルニューオータニ大阪において、第9回通常総会を開催しました。虹の会会員のお取引先469社728名と会員生協役員、コープきんき役員をあわせて873名が出席しました。

コープきんき虹の会会長 日本水産株式会社 細見典男代表取締役会長の開会挨拶の後、虹の会の2016年度事業報告と2017年度事業計画が承認され、今年度も虹の会の各部会を中心に会員相互の事業発展のための交流や研修会などを積極的に進めたいと報告されました。また、役員改選が行われ、左記の方々を虹の会全体役員に選出されました。

総会にはコープきんき事業連合の役員が来賓として出席し、代表として畑忠男理事長が挨拶しました。また、小池隆博専務理事がコープきんき事業連合の現況について報告しました。



### 虹の会全体役員

会長	株式会社ニチレイフーズ	大楯頭也社長
副会長	日本水産株式会社	細見典男会長
副会長	日本ハム株式会社	末澤壽一社長
会計	加藤産業株式会社	木村敏弘専務
会計	伊藤忠食品株式会社	大釜賢一専務
監査	全国農業協同組合連合会	岩城晴哉常務
監査	三菱食品株式会社	山本泰生常務